

KUYC LETTERZINE



京都大学体育会ヨット部 活動報告

□全日本インカレ □部員インタビュー □全日本470 □スナイプジュニア

2021.12.1

[Vol.0025]



全日本インカレを振り返って

お世話になっております。新4年生スナイプスキッパー、主将を務めます、南野仁です。

全日本インカレについて報告させていただきます。初日は北西の軽風から中風のコンディションの中3レース行われました。両チームとも順位を安定させることが難しく、まずまずの順位で初日を終えました。スナイプではシングルをとる船が毎回いて、次の日への期待が膨らみました。

2日目は蒲郡らしい北西強風コンディションになりました。京大がこの一年かけて練習してきた風です。第4レースではスナイプ2-5-7で全艇シングルフィニッシュの快挙をなしとげました。470チームは苦戦する艇もいるなか、交代をうまく使って順位を上げ、シングルフィニッシュをとる艇も増えました。2日目終わった時点で、47010位、スナイプ4位、総合5位につけました。スナイプは2位と5点差、470も9位以上のチャンスが見えるといったスコアです。

迎えた3日目、風は弱い予報でしたが、東よりの風が入って、予定通りの出艇でした。レースをするかと意気込んでいましたが、振れる風の中スタートができず、あえなくノーレースとなりました。最終日は朝から風がありませんが、リミットがあるため出艇でした。長時間の沖風まちです。琵琶湖で慣れているとはいえレースをやりたいのにてぎないつらさがありました。リミットまで風を待ちましたが、レース終了を告げるAPAが上がりました。2日目までの成績が最終成績となり、インカレは終わりました。

もっと実力を出したい、470もスナイプも、もっと上にいけるという自信に溢れていましたが、風にめぐまれず、不完全燃焼で終わってしまいました。ですが、総合成績は5位と目標としていた総合入賞は達成することができました。今大会は、下級生がしっかりとサポート体制を築いてくれたおかげで、本当にレースメンバーはレースに集中することができました。総合力で、インカレを戦い抜いたことを実感できました。皆で目標を達成することができて本当によかったです。

最後になりましたが、レスキューで支援してくださいましたコーチの皆様、応援に駆けつけて下さいましたOBOGの皆様、本当にありがとうございました。

部員リレーインタビュー member relay interview

025

日々練習に励んでいる部員の生の声をお届けします。今回は部内で人気者のお二人です。
470からは中村和希(新4)、スナイプからは原田達郎(新4)へのインタビューです。



470 スkipper

中村 和希

2000年千葉県生まれ。県立船橋高校バレーボール部出身。工学部。愛想の良い笑顔の裏に抱えていたトゲトゲしい尖りは、ヨット部で揉まれ削られるうちに丸みを帯び、最近はずだの仕事ができる良い先輩に昇華しつつある。彼の前向きな姿勢は後輩のあこがれの的である。

Q.プレイヤーとしての強みは？

A.プレイヤーとしての強みといえるほどかはわかりませんが、レースの序盤で遅れをとってしまっても、まだ全然巻き返せるというメンタルで中盤や終盤まで諦めずに前を目指せるのはあるかもしれません。86代の鈴木晟太氏とペアを組んでいた時にじょうたさんから最後まで諦めないことの大切さを学びました。精神的に崩れなければ、挽回の機会はたくさん転がっているので、常にポジティブに前を目指すように心掛けています。

Q. 尊敬する先輩は？

A.尊敬する先輩は数多くいますが、85代の470スキッパーであった中川武洋氏は特に尊敬しています。未経験ながら2回生からインカレで活躍されていました。私が470に乗り始めた頃からずっと憧れの存在であり、何度も質問したりよく動画を見てもらったりしていました。470の知識で武さんから学んだものはかなり多くあります。また、ヨット以外でもたくさんお世話になっており、とても頼りになる兄のような存在です。

Q. これまでの部活を振り返って

A.辛い経験も楽しい経験も多くしましたが、全体で見ると、楽しい経験の方が多かったなと思います。凍えるような寒さの中や連日の強風での辛い練習でも、みんなで一緒に頑張るといのは楽しくもありましたし、ヨットに乗れることそれ自体もとても好きでした。気づけば新4回生になってしまっていて、あと1年しかないと考ええると寂しいなと思います。残りの1年間悔いのないように部員みんなで頑張っていきたいなと思っています。



新艇が来た時に470チームみんなで撮った思い出の写真です！



スナイプ クルー

原田 達郎

2000年 兵庫県生まれ。甲陽高校バスケット部出身。工学部。部内一のコメディアン。の雰囲気を出しながら、留年を回避するべくコソコソと勉強しており、ヨットへの姿勢は至って真面目。実体はコメディアンとはほど遠い。彼の明るさが部活を輝かせる！

Q. ペアとの思い出

A. 一個上のぬめさんと出た去年の個人戦予選の2日目で1上1位を取ったことです。ゼネリコを繰り返して、ブラックが上がってラインが低い中でのスタートでした。当時加速には自信がなかったですが見通しには自信があったので周りより早く加速をはじめめっちゃ高いスタートを決めることができました。そのまま何も考えずひたすら左に伸ばしヘダーしたタイミングで返したらどどんリフトしていったのを今でも覚えてます。死ぬほど嬉しかった記憶があります。ただその後2上で死ぬほど落としたのは内緒の話。

Q. オフの過ごし方

A. ヨット部の冬のオフといえばやっぱり鳥清ですかね。鳥清とは部活で募集されているバイトで年末になると募集されます。老舗の鶏肉屋さんで、社員さんの人柄も最高にいいです。また場所が錦市場ということもあり、京都らしさを感じられるのも楽しい部分です。また部員と一緒にバイトに入るので普段のバイトと違い退屈したり寂しい思いをすることもあります。賄いで出てくる店の鶏肉を使った唐揚げなども堪らないです。お金に困っている現役部員には絶対おすすめです！

Q. 京大ヨット部の好きなところ

A. なんだかんだみんな京大ヨット部が好きな所です。皆ヨットというスポーツもヨット部という組織も大好きです。だからこそ自分達が映ってきたPVを見て馬鹿みたいに盛り上がるし、先輩方のフルセイルをあんなにも読むんだろうなと思います。また特に愛を感じるのにはインカレなどの大事な大会には必ずと言っていいほどOBさん方がいらっしゃる所です。皆さん親のような目線で見守っていて卒業してもなんだかんだヨット部が好きなんだなあと感じます。他大学を見てもあんなにOBが集まっている大学は少ないように感じました。これからもご声援の方よろしくお願いします。



ペアを組んでいた加藤との写真。2年間ペアを組んでいた分だけ多くの思い出が残りました！

全日本470@江ノ島

新4回生470クルーの實松大介です。先日行われました、全日本470のレース報告をさせていただきます。本大会は社会人でオリンピック出場選手も参加するなど非常にレベルの高いものでした。1日目は午後から4～0mの微風の中レースが行われ、ブルーフリートでは2艇のみフィニッシュという波乱の展開でした。またイエローフリートでは抜井奈良ペアが2位フィニッシュし、翌日には2位のビブスをきてレースに出場することができました。2日目以降は軽風から1.5ピンダウンの強風まで様々な風域でレースが行われ、関東の大学や社会人と走り比べ、インカレが終わった後のリラックスした気持ちで楽しく挑むことができました。個人的にはギリギリゴールドフリートに残れず悔しい思いをしましたので来年リベンジをしたいと思っています。今回の経験を活かして今後のレースに挑みたいと思います。



46（古澤・實松）ペアでのラストのレースとなりました。いつも仲のいい2人、これからの87代470チームの最前線です！

スナイプジュニア@蒲郡

新3回生スナイプクルーの金坂です。今大会は11月13日と14日の2日間で実施され、3回生スキッパーの南野先輩と出場しました。初日は琵琶湖ではあまりないほどの強風で3レース実施されました。あまり練習したことがないコンディションであり、順位が安定しませんでした。2日目は軽風で1レース実施されました。スタートも決まり、うまく風をとらえることができ2位で帰ってこれました。今大会は社会人セーラーや強豪校が出場しており、レベルの高い大会でトップセーラーの方たちとの実力差を痛感しました。今大会でわかった自分の弱点をすこしでも少なくし、一日でも早くトップセーラーの仲間入りできるように練習に励みたいと考えております。



団体戦後すぐの蒲郡でのレース、2回生クルーとして様々な思いがこみ上げました。

交代式@ZOOM

こんにちは、新2回生470スキッパーの飯田碧です。11月20日、86代から87代への交代式がzoomにて開かれました。現役、OBOG、監督・コーチら約80名が参加し、旧幹部からの引退挨拶や新幹部の決意表明が行われました。式の途中で4年間の思い出の写真が詰まったムービーが流れ、もうこの先輩方と一緒に部活をすることはないのかと思うと、とても寂しくなりました。

87代での目標は「総合3位入賞」です。南野主将を中心とした新体制での活動が始まり、早くも一体感をより感じる機会が増え、これからどんなチームになっていくのか、とてもワクワクしています。86代で築かれた万里一空の精神をしっかりと受け継ぎ、新たなチームで頑張っていきたいと思います。

これからも引き続きご支援、ご声援の程宜しくお願い致します！



86代の先輩方、お世話になりました！先輩から学んだ多くの事を新体制でも受け継いでいきたいです。

レスキュー便り

プレイヤー以上に情熱あふれるマネージャーたちの活動や思いについて紹介します。

～ヨット部のやりがい～

お世話になっております。2回生マネージャーの畑中翔です。ヨット部のやりがいはマネージャーも強いチームを作ることに参加出来ることです。ヨット部は学生主体で練習をするため、レスキューの運転や練習運営などをして自分たちも練習に参加していることを強く感じれます。これからも強いチームであり続けられるようにマネージャーとして出来ることを頑張ります。



新3回生
マネージャー
畑中 翔

京都大学体育会ヨット部

滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫

[tel] 077-525-0312

[hp] <https://www.kuyc-home.com/>

[mail] kuyc.2013@gmail.com



<https://twitter.com/kuyc>



<https://www.facebook.com/kyotosailing/?fref=ts>



https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja